

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

お客様相談センター【ご利用時間 9:00～18:00】※全日対応(土・日・祝日対応)

●フリーダイヤル

☎ 0120-20-8822 ※携帯電話、IP 電話からもご利用いただけます。

全国営業拠点

■支店の移転等により連絡がとれない場合は、下記のアドレスから最新の電話番号をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



●北海道支店	TEL (011) 786-5122	●北陸支店	TEL (076) 263-4311
●東北支店	TEL (022) 288-8676	●関西支店	TEL (06) 7167-3644
●東京支店	TEL (03) 5753-7703	●中国支店	TEL (082) 504-8282
●関東支店	TEL (03) 6374-5687	●四国支店	TEL (087) 863-6761
●中部支店	TEL (052) 533-0231	●九州支店	TEL (092) 621-5772

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99730604 306 G

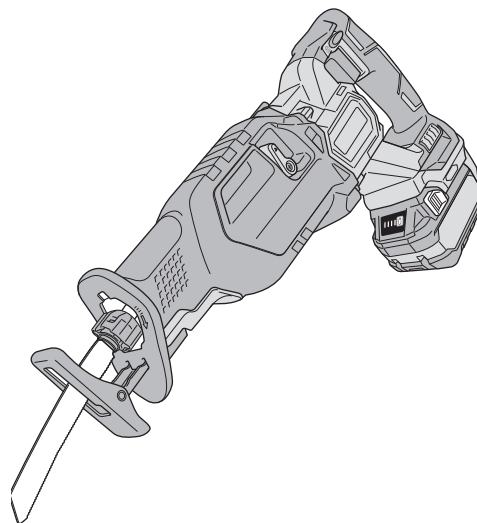
HIKOKI

取扱説明書

コードレスセーバー

36 V CR 36DA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

用途

- パイプ、アングルの切断
- 各種木材の切断および窓抜き
- 軟鋼板、アルミ板などの切断
- ベークライト、塩化ビニールなどの各種合成樹脂の切断

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意…	1
本製品の使用上のご注意……………	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意…	7
各部の名称……………	8
標準付属品……………	9
仕様……………	10
別売部品……………	11

使い方

蓄電池の取付け・取りはずし ……	15
スイッチロックボタンについて…	16
スイッチについて……………	16
速度調整について……………	17
ストロークモードについて…………	18
ブレードの取付け・取りはずし …	19
ベース位置の調整……………	21
フックの使い方……………	21
LED ライトの使い方 ……	22
LED ライトの警告シグナルについて…	22
1 充電当たりの作業量について…	23
作業上のご注意……………	24
切断する……………	25
窓抜き切断……………	27

その他

保守・点検……………	30
ご修理のときは……………	裏表紙

⚠警告、⚠注意、注の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - コードレス工具は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。
感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。
発火や火災の恐れがあります。
- ③ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ④ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⚠警告

- ⑤ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑥ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑦ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で
使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
 - コードレス工具を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の
車内など）に保管しないでください。
劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業して
ください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

- ⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。
- 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元を安定させて、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ 調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。
- 調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。
付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。
- コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。
- 特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。
- ⑫ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。
- アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。。

⚠注意

- ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。
- サービスマン以外の人とは、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受け付けできません。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスセーバソーについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に確かめてください。
埋設物があるとブレードが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、機体をしっかりと保持してください。
- ③ 使用中は、ブレードや切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ④ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑤ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、ブレードや機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑥ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑦ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠注意

- ① 付属品や別売部品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用直後のブレードは高温になっているので、触れないでください。
やけどの原因になります。
- ③ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ④ 機体の外枠にある風穴に異物を入れないでください。
モーターがロックし、故障の原因になります。
- ⑤ 機体で材料をたたき、落下等の強い衝撃を加える、水にぬらすことなどをしてしないでください。
内蔵している精密部品が破損し、誤作動等をおこす原因になります。
- ⑥ LEDライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。
- ⑦ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ⑧ 蓄電池は確実に取付けてください。
確実でないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記 ①、②、③ の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

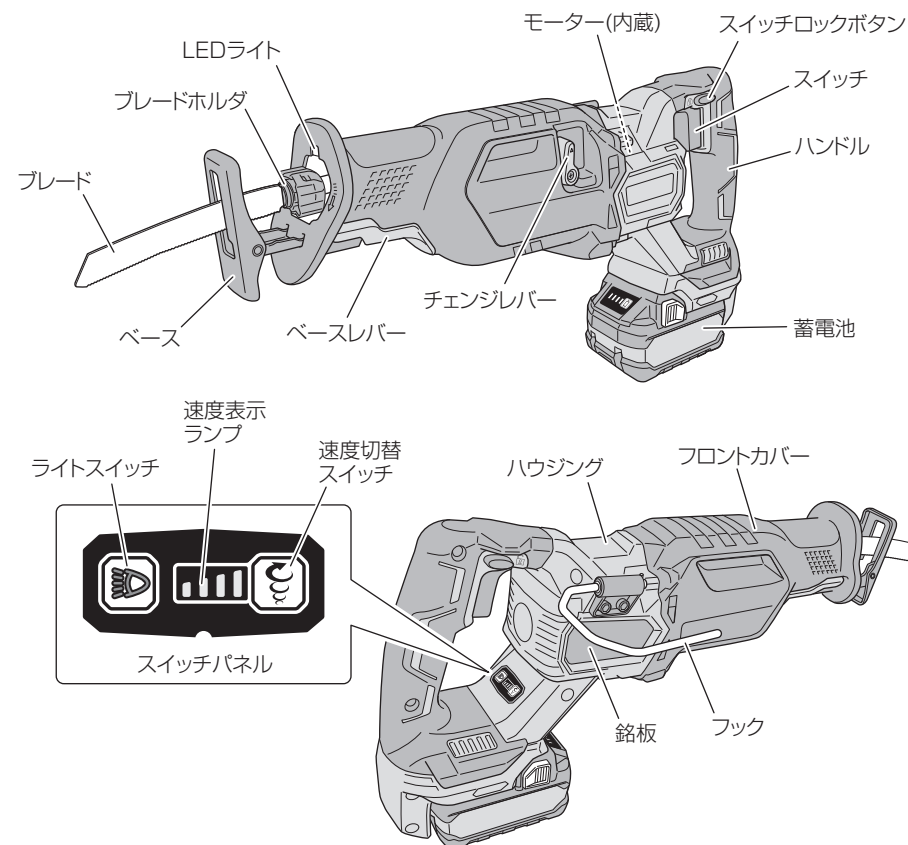
再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、蓄電池の取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を守ってください。

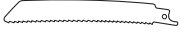
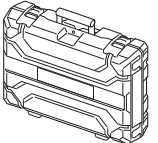
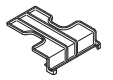
○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

各部の名称



標準付属品

品 名	仕 様	XPZ	NN
ブレード (No.141(S)) 		1 本	1 本
蓄電池 ●取扱い方法は、蓄電池の取扱説明書を 確認してください。		1 個	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を 確認してください。		1 台	—
収納ケース 		1 個	—
電池カバー 		1 個	—

仕 様

形 名	CR 36DA
能	軟鋼パイプ 外径 130 mm 塩ビパイプ 外径 130 mm
力	木 材 厚さ 255 mm 軟 鋼 板 厚さ 19 mm
モ	ー タ ー 直流ブラシレスモーター
無負荷ストローク	低 速：0～1,700 min ⁻¹ {回/分} 中 速：0～2,000 min ⁻¹ {回/分} 高 速：0～2,500 min ⁻¹ {回/分} 最高速：0～3,000 min ⁻¹ {回/分}
ス ト ロ ー ク	32 mm
工 具 本 体 寸 法 全長×全高×全幅	457×253×101 mm [BSL 36A18X 装着時]
質 量	4.5 kg [BSL 36A18X 装着時]
L E D ラ イ ト	白色 LED
電 池 電 圧	36 V
使 用 可 能 蓄 電 池	マルチボルトタイプ蓄電池

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

各種ブレード

作業の能率や仕上げを良くするには、加工物の材質や厚さに適したブレードを使うことが大切です。下の表を参照し、加工物に適したブレードをご使用ください。

- 注**
- 表中の最大加工物寸法は、ブレードとして切断可能な寸法であり、本機の切断能力とは異なります。切断能力はP.10「仕様」を参照してください。
 - 表中に記載してあるブレードをご利用ください。表中以外のブレードも取付きますが推奨はできません。
 - 表中の最大加工物寸法は、ベースの取付け位置をセーバソー本体に最も近い位置に取付けた場合の寸法です。ベースをセーバソー本体から遠ざけて取付けた場合は、最大加工物寸法が小さくなりますのでご注意ください。
 - 加工物の形状・厚さと、ブレード形状の組合せによっては切断中にロックすることがありますのでご注意ください。

【セーバソーブレード一覧】

湾曲タイプ

ブレード No.	切断目安 (mm)		山数 (インチ)	寸法 (mm)		鉄材						非鉄金属	合成樹脂			
		適用 管材		全長	刃厚	ステンレス材			軟鋼材			アルミ・ 黄銅・銅	塩ビなど			
						管材		板材	管材		板材		厚さ	管材		板材
						外径	厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ			外径	厚さ	厚さ
No.141(S)		ステン レス 管材	14	150	0.9											
No.141																
No.142(S)			14	200	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.142																
No.143(S)			14	250	0.9	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.143	2 以上															
No.145(S)		ステン レス 管材	18	150	0.9	60 以下	2.0 以下	2.0 以下	60 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.145																
No.146(S)			18	200	0.9	115 以下	2.0 以下	2.0 以下	115 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.146																
No.147(S)			18	250	0.9	130 以下	2.0 以下	2.0 以下	130 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.147																
No.148	スパイラルダクト等の 薄物切断用		24	250	0.9	130 以下	2.0 以下	2.0 以下	130 以下	3.5 以下	3.5 以下	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	

ブレード No.	切断目安 (mm)		山数 (インチ)	寸法 (mm)		鉄材						非鉄金属		合成樹脂		
		適用 管材		全長	刃厚	ステンレス材			軟鋼材			アルミ・ 黄銅・銅	塩ビなど			
						管材		板材	管材		板材		管材			
						外径 	厚さ 	厚さ 	外径 	厚さ 	厚さ 		外径 	厚さ 	厚さ 	
No.152		極厚・ステンレス管材 【重作業用】	14	200	1.3	115 以下	3.0 以下	3.0 以下	115 以下	2.5 ~6	3.2 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.152C			9~12 コンビ ネーション	200	1.3	115 以下	3.0 以下	4.0 以下	115 以下	3.0 ~9	3.2 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.153			14	250	1.3	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	130 以下	2.5 ~6	3.2 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.154			14	300	1.3	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	175 以下	2.5 ~6	3.2 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.252CW			10~14 コンビ ネーション	200	1.3	115 以下	3.0 以下	4.0 以下	115 以下	3.0 ~7	3.2 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.253CW			10~14 コンビ ネーション	250	1.3	130 以下	3.0 以下	4.0 以下	130 以下	3.0 ~7	3.2 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.254CW			10~14 コンビ ネーション	300	1.3	130 以下	3.0 以下	4.0 以下	175 以下	3.0 ~7	3.2 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60	

湾曲タイプ

〈木材用・ALC用・リフォーム作業用〉

ブレード No.	用途	山数 (インチ)	寸法 (mm)		木材	ALC	鉄材						非鉄金属		合成樹脂		
			全長	刃厚			ステンレス材				軟鋼材		アルミ・ 黄銅・銅	塩ビなど			
							管材		板材	管材		板材		管材			板材
							厚さ 	厚さ 	外径 	厚さ 	厚さ 	外径 		厚さ 	厚さ 	厚さ 	厚さ 
No.157	ALC用	8	200	1.3	—	110 以下	110 以下	3.0 以下	3.0 以下	110 以下	3 ~6	—	—	—	—	—	
No.155	ラス入りも 切断可能	8	300	1.3	—	150 以下	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	175 以下	3 ~6	—	—	—	—	—	
No.158	木工用 リフォーム用	8	200	1.3	110 以下	—	110 以下	3.0 以下	3.0 以下	110 以下	3 ~6	—	—	—	—	—	
No.156	釘入りも 切断可能	8	300	1.3	150 以下	—	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	175 以下	3 ~6	—	—	—	—	—	
江戸目 (細目)	木工用	15	200	アサリ 1.3	110 以下	—	—	—	—	—	—	—	—	110 以下	2.2 ~15	10 ~60	
竹の切断にも最適		15	280	アサリ 1.3	150 以下	—	—	—	—	—	—	—	—	150 以下	2.2 ~15	10 ~60	
江戸目 (荒目)	木工用	10	200	アサリ 1.3	110 以下	—	—	—	—	—	—	—	—	110 以下	2.2 ~15	10 ~60	
竹の切断にも最適		10	280	アサリ 1.3	150 以下	—	—	—	—	—	—	—	—	150 以下	2.2 ~15	10 ~60	

ストレートタイプ

ブレード No.	切断目安 (mm)		山数 (インチ)	寸法 (mm)		鉄材						非鉄金属		合成樹脂		
	厚さ 	適用 管材		全長	刃厚	ステンレス材		軟鋼材		アルミ・ 黄銅・銅	塩ビなど	外径	厚さ	厚さ		
						管材	板材	管材	板材							
															外径	厚さ
No.111		極厚・ ステンレス管材	8~10 コンビネーション	150	1.1	60 以下	3.0 以下	3.0 以下	60 以下	4.0 ~10	3.0 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.112			8~10 コンビネーション	225	1.1	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	130 以下	4.0 ~10	3.0 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.113			8~10 コンビネーション	300	1.1	130 以下	3.0 以下	3.0 以下	175 以下	4.0 ~10	3.0 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.101		厚物・ ステンレス管材	10	150	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.102			10	228	0.9	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.103			14	150	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.104			14	228	0.9	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.114			14~18 コンビネーション	150	1.1	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~8	2.5 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.115			14~18 コンビネーション	225	1.1	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	2.5 ~8	2.5 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.116			14~18 コンビネーション	300	1.1	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	175 以下	2.5 ~8	2.5 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.109			薄物・ ステンレス管材	18	150	0.9	60 以下	2.0 以下	2.0 以下	60 以下	2.0 ~6	2.0 ~19	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.110				18	228	0.9	130 以下	2.0 以下	2.0 以下	130 以下	2.0 ~6	2.0 ~19	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.107		スパイラルダクト等の 薄物切断用	24	150	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	3.5 以下	3.5 以下	5 ~20	60 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.108			24	228	0.9	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	130 以下	3.5 以下	3.5 以下	5 ~20	130 以下	2.2 ~15	10 ~60	

ストレートタイプ 〈木材用・ALC用・リフォーム作業用〉

ブレード No.	用途	山数 (インチ)	寸法 (mm)		木材	ALC	鉄材						非鉄金属	合成樹脂		
			全長	刃厚			ステンレス材				軟鋼材		アルミ・ 黄銅・銅	塩ビなど		
							管材		板材		管材	板材		管材		板材
							厚さ 	厚さ 	外径 	厚さ 	厚さ 	厚さ 		厚さ 	厚さ 	厚さ 
No.121	木工・ ALC用	6	305	1.3	120 以下	130 以下	-	-	-	-	-	-	-	130 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.132	リフォーム 用	6 ~ 11	203	1.3	110 以下	-	110 以下	2.5 以下	2.5 以下	110 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	110 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.131	リフォーム 用	10 ~ 14	305	0.9	-	130 以下	130 以下	2.5 以下	2.5 以下	175 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	175 以下	2.2 ~15	10 ~60
No.5	木工用	9	120	0.9	50 以下	-	-	-	-	-	-	-	-	40 以下	2.2 ~5	5 ~30
No.4	木工用	3	160	0.9	50 ~100	-	-	-	-	-	-	-	-	80 以下	2.2 ~10	10 ~60

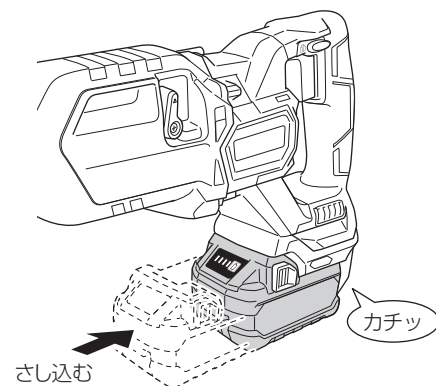
ハイス材タイプ 〈軟鋼材用・ステンレス用〉

ブレード No.	用途	山数 (インチ)	寸法 (mm)		木材	ALC	鉄材						非鉄金属		合成樹脂	
			全長	刃厚			ステンレス材				軟鋼材		アルミ・ 黄銅・銅	塩ビなど		
							管材		板材		管材	板材		管材	板材	
							外径	厚さ	厚さ	外径						厚さ
				厚さ	厚さ											
No.96	ステンレス 薄物用	18	120	0.9	—	—	40 以下	2.5 以下	2.5 以下	40 以下	2.5 ～6	2.5 ～19	5 ～20	40 以下	2.2 ～5	10 ～60
No.95	ステンレス 薄物用	18	195	0.9	—	—	115 以下	2.5 以下	2.5 以下	115 以下	2.5 ～6	2.5 ～19	5 ～20	115 以下	2.2 ～15	10 ～60

蓄電池の取付け・取りはずし

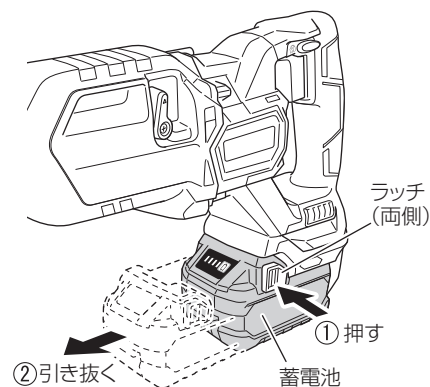
「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。

取付けるとき



両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

取りはずすとき



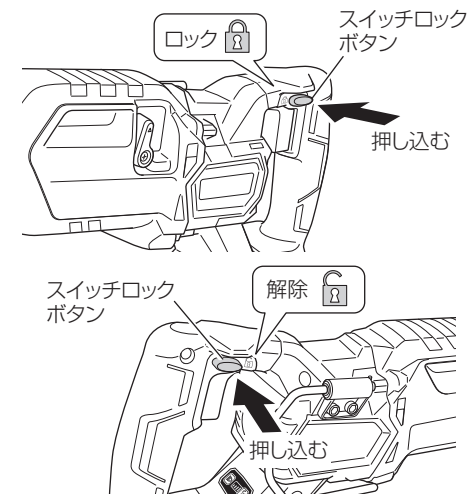
スイッチロックボタンについて

誤ってスイッチを引いても、モーターが起動しないようにスイッチロックボタンが付いています。

スイッチロックボタンは、確実に押し込んでください。

注 次の場合は、必ずスイッチロックボタンをロック側（右側）に押し込んでください。

- 作業を中断および終了したとき
- ブレードを取付け・取りはずすとき
- ベースの位置を調整するとき
- フックを使用するとき
- 保守・点検・保管するとき



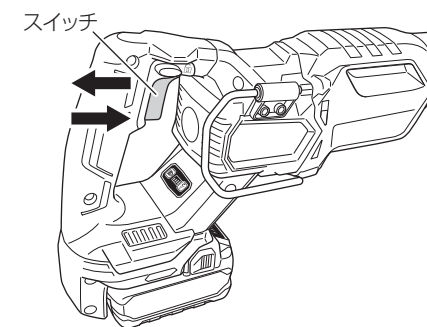
スイッチについて

スイッチの引き込み量で、無段階にストローク数が変わります。

スイッチを大きく引くと、ストローク数が上がります。

切断を開始するときは、正確に切込むためストローク数を下げ、十分な切込みが得られてからストローク数を上げて（スイッチの引き込み量を大）切断すると、ねらった位置に合わせやすくなります。

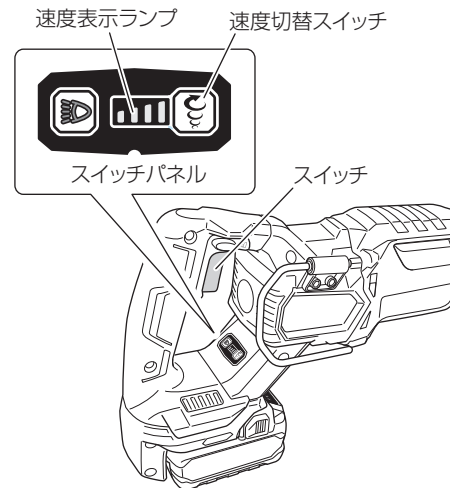
また、スイッチをはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。



速度調整について

最大ストローク数を速度切替スイッチで選択できます。

蓄電池を工具本体に取付け、一度スイッチを入れた後、速度切替スイッチを押すとスイッチを押すごとに最大ストローク数を低速・中速・高速・最高速の4段階に調整できます。



速度	低速	中速	高速	最高速
スイッチパネル表示				
ストローク数	0 ~ 1,700 min ⁻¹	0 ~ 2,000 min ⁻¹	0 ~ 2,500 min ⁻¹	0 ~ 3,000 min ⁻¹
用途	ステンレス プラスチック ファイバー板	鉄パイプ 鋳鉄管 L形アングル アルミ 黄銅・銅	ALC 石こうボード 木材	

ストロークモードについて

本機は、ブレードが前後に運動するストレートモードと、前後運動と同時に上下運動するオービタルモードを備えています。

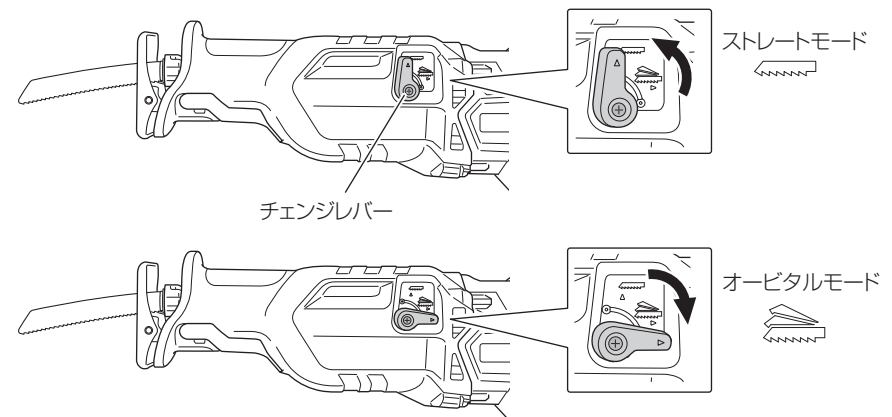
オービタルモードでは、特に木材などの軟質材において、材料への食い込みおよび切粉の排出が良くなり、切断作業がスムーズになります。

チェンジレバーで用途に応じたストロークモードを選択してください。

最適なストロークモードは切断する材料のかたさ、切断面の仕上り程度、その他の要因によって左右されるため、あくまでも目安としてご利用ください。

モード	ストレート	オービタル
運動軌跡	前後運動	前後運動 + 上下運動
材料のかたさ	硬質材 ←————→ 軟質材	
切断速度	ゆっくりでも良い ←————→ 速く切りたい	
仕上り程度	きれいに仕上げたい ←————→ 粗くても良い	

- 注**
- 軟質材でも、きれいに切断したい場合は、ストレートモードを選択してください。
 - チェンジレバー部にごみやほこりがたまると、チェンジレバーの動きが悪くなることがありますので、チェンジレバー部を時々掃除してください。



ブレードの取付け・取りはずし

⚠警告

- ブレードの取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、スイッチロックボタンをロック側（右側）に押し込みロックして、蓄電池を工具体体から抜いてください。
- ブレードを引くときは、必ずブレードの背面を引いてください。
刃の付いている部分を引くと、けがの原因になります。

⚠注意

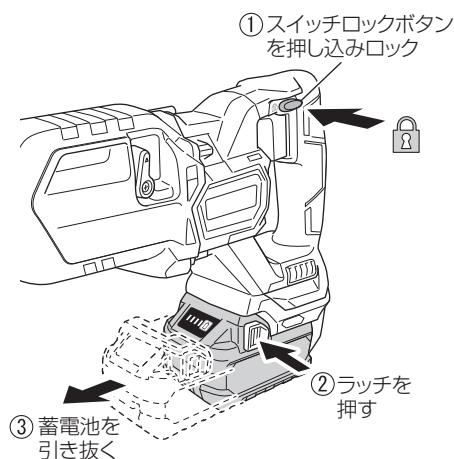
- ブレードは、切粉をよくふき取り、確実に取付けてください。
取付けが確実でないと、ブレードがはずれ、けがの原因になります。
- ブレードの刃に触れないでください。
けがの原因になります。

注 ブレードを交換するときには、切粉などがブレードさし込み口にたまらないように掃除してください。

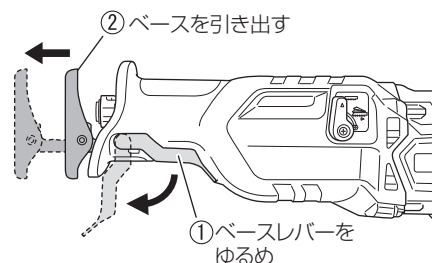
ツールレス着脱機構を搭載していますので、スパナやレンチなどの工具を使用しないでブレードの取付け・取りはずしができます。

取付け方

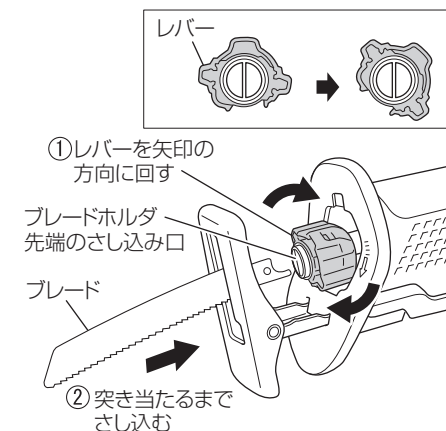
- 1 スwitchを切り、スイッチロックボタンをロック側（右側）に押し込み、蓄電池を工具体体から抜いてください。



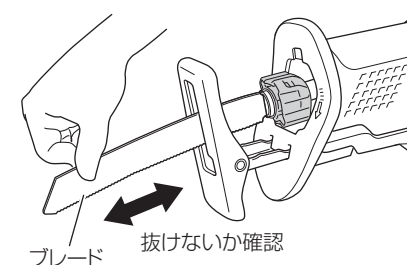
- 2 作業しやすいように、ベースレバーをゆるめ、ベースを引き出します。



- 3 レバーを矢印の方向に回しながら、ブレードをブレードホルダ先端のさし込み口から、突き当たるまでさし込みます。



- 4 レバーから指をはなすと、さし込み口が自動的に元の位置に戻り、ブレードが固定されます。
ブレードを軽く引き、抜けないことを確認してください。



取りはずし方

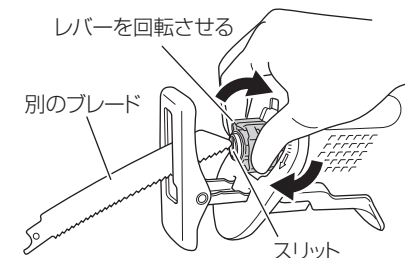
取付けたときと同様に、レバーを矢印の方向に回転させ、ブレードを下に向けて、自然落下させます。

自然落下しない場合には、刃先に注意しながらブレードの背面を指で引いて取りはずしてください。

ブレードが折れた場合

ブレードが折れて自然落下しない場合には、次のように取りはずしてください。

- 折れたブレードの一部がスリットから飛び出している場合：
飛び出した部分を指で引いて取りはずします。
- 折れたブレードがスリットの内部にかくれてしまった場合：
別のブレードの先端部分を使い、折れたブレードを引っ掛けて取りはずします。



⚠注意

使用直後のブレード、ブレードホルダは、高温になっているので触れないでください。
やけどの原因になります。

1 充電当たりの作業量について

1 充電当たりの作業量の目安を示します。
(木材のかたさ、使用環境、蓄電池の状態などにより異なります。)

(蓄電池 BSL 36A18X 使用時)

材料 (種類)		使用ブレード	速度	モード	作業量
木材	SPF 2 × 10 材 (厚さ 38 mm × 長さ 235 mm)	No. 132	最高速	オービタル	100 カット
鋼管	外径 34 mm × 厚さ 3 mm	No. 103	中速	ストレート	80 カット

作業上のご注意

● 連続作業について

本機はモーターおよびモーターの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。

連続的に作業を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。その際は機体を十分に冷ましてください。

温度が下がれば再び使用することができます。

また、連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を 15 分程度休ませてから使用してください。

● 変速スイッチについて

スイッチにはストローク数を無段階に変速する電子回路が内蔵されています。

スイッチの引き込み量が少ない状態 (低速回転域) で、モーターを停止させる作業を連続に行うと電子回路部品の温度が高くなり、故障の原因になります。

● 機体の保持と押し付け力について

機体は両手でしっかりと保持してください。また、機体は必要以上に押し付ける必要はありません。

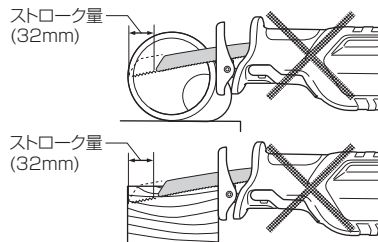
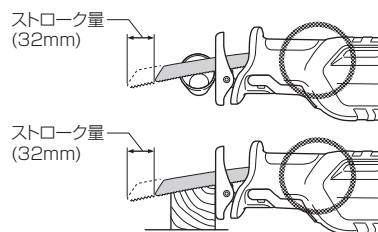
機体をこじる力や押し付ける力が過度にかかると、機体が故障する原因になります。

切断する

- パイプ、アングル ●軟鋼板、アルミ板など
- ベークライト、塩化ビニールなどの各種合成樹脂
- 各種木材

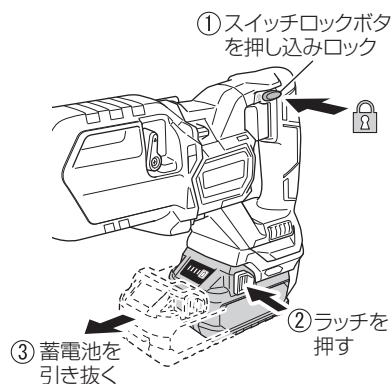
警告

- フロントカバーをはずさないでください。必ずフロントカバーの上から工具本体を保持してください。
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、スイッチロックボタンをロック側（右側）に押し込みロックして、蓄電池を工具本体から抜いてください。
- ブレードは、図に示すようにブレードの突き出し量が最小のとき、切断材料より十分出るように選んでください。
ブレードの切断能力以上の太いパイプや大きい木材などを切断すると、ブレード先端がパイプ内壁または木材に当たってブレードを折損する恐れがあります。



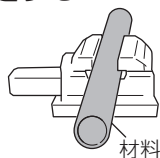
1 蓄電池を取りはずす

誤作動防止のため、スイッチロックボタンをロック側（右側）に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。（P.16「スイッチロックボタンについて」参照）



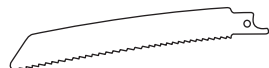
2 切断材料を固定する

クランプや万力などで、切断材料がしっかり固定されていることを確認してください。



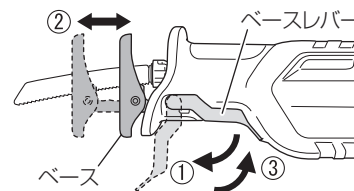
3 ブレードを取付ける

切断材料の材質・厚さ・大きさに適したブレード（種類・長さ）をご使用ください。（P.19「ブレードの取付け・取りはずし」参照）



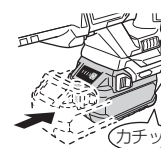
4 ベース位置を調整する

切断材料の大きさに合わせ、ベースの前後位置を調整します。（P.21「ベース位置の調整」参照）



5 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



6 スwitchロックボタンを解除する

スイッチロックボタンを解除側（左側）に押し込み、スイッチロックボタンを解除します。（P.16「スイッチロックボタンについて」参照）



7 速度調整・ストロークモードを設定する

作業に応じて設定してください。（P.17「速度調整について」、P.18「ストロークモードについて」参照）



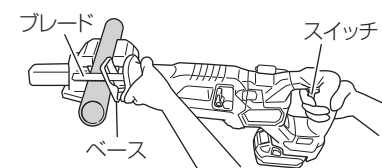
注 スwitchを引きながらの状態での設定の切り替えはできません。

注意

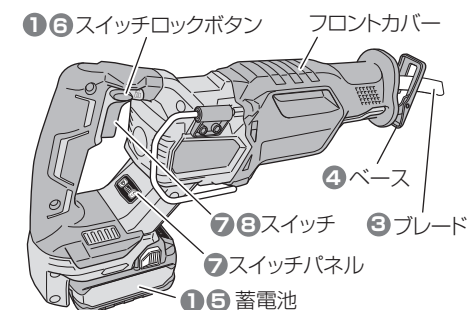
- 作業中はベースを切断材料にしっかり押し当てて切断してください。しっかり押し当てないと振動により、ブレードを損傷することがあります。
- 切断時は、無理な力を加えないでください。ブレードを折損する恐れがあります。
- 小さな円弧に切断する場合は、送り速さを遅くしてください。無理に速く送ると、ブレードを折損する恐れがあります。

8 切断する

- 切断箇所にブレード位置を合わせてベースを切断材料に押し当て、スイッチを引きます。
- 金属切断時には、ブレードの寿命が短くなりますので、切削油（タービン油など）を使用してください。



注 切粉などがブレード取付け部周辺の凹部にたまるときには、その都度、清掃しながら作業してください。



窓抜き切断

●木製の合板パネルや薄板木材の窓抜き

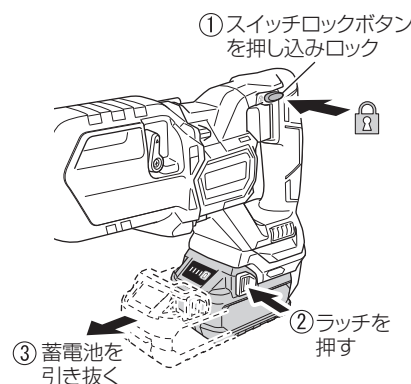
警告

- 金属材料の窓抜きはしないでください。
ブレードを折損する恐れがあります。
- ブレードの先端を材料に押し当てた状態で、スイッチを引かないでください。
ブレード先端が材料に勢い良く当たって、ブレードを折損する恐れがあります。
- 必ず機体をしっかりと保持して、ゆっくりと作業してください。
無理な力を与えると、ブレードを折損する恐れがあります。

木製の合板パネルや、薄板木材の窓抜き切断ができます。

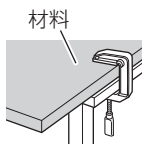
1 蓄電池を取りはずす

誤作動防止のため、スイッチロックボタンをロック側(右側)に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。
(P.16「スイッチロックボタンについて」参照)



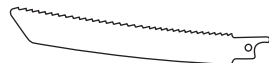
2 切断材料を固定する

クランプなどで、切断材料がしっかり固定されていることを確認してください。



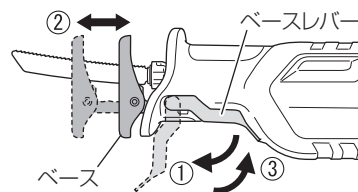
3 ブレードを取付ける

- できるだけ短くて、厚いブレードをご使用ください。
(P.11～14「別売部品」参照)
- ブレードを上下逆向きに取付けると、開始穴が明けやすくなります。
(P.19「ブレードの取付け・取りはずし」参照)



4 ベース位置を調整する

ベースを機体に一番近い位置にします。
(P.21「ベース位置の調整」参照)



5 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



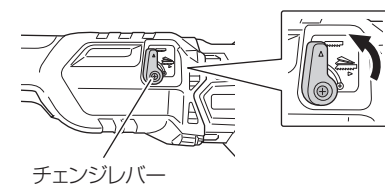
6 スイッチロックボタンを解除する

スイッチロックボタンを解除側(左側)に押し込み、スイッチロックボタンを解除します。
(P.16「スイッチロックボタンについて」参照)



7 速度調整を確認し、ストレートモードに設定する

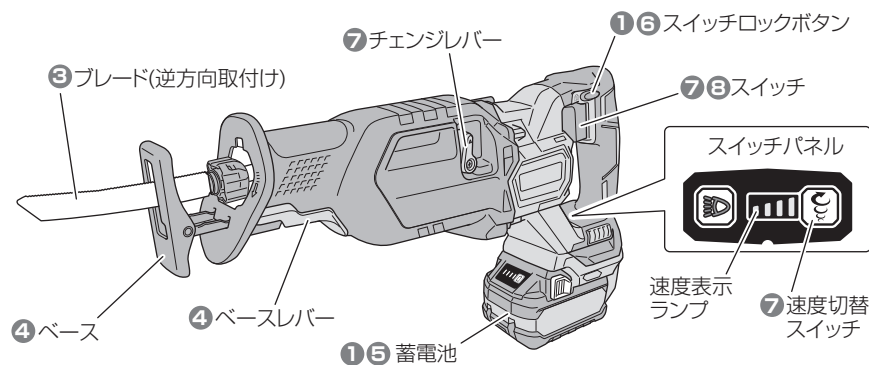
スイッチを一度引いて、現在の速度調整を確認し、ストレートモードに切り替えます。
(P.17「速度調整について」参照)



注 スイッチを引きながらの状態、モードの切り替えはできません。

8 窓抜き切断をする

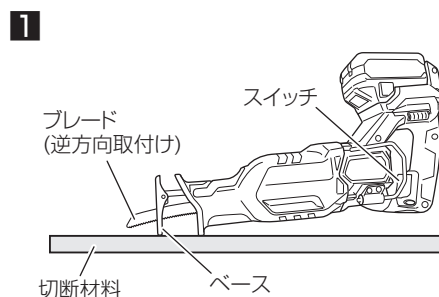
P.29「窓抜きのコツ」を参照してください。



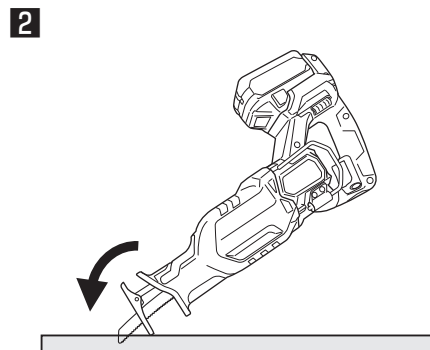
●窓抜きのコツ

ブレードを逆方向に取付けると、機体をより寝せた状態で切込みを開始できるため（下図 1 参照）スムーズに窓抜きの開始穴をあけることができます。

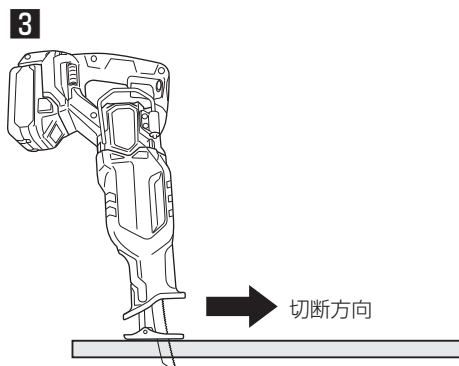
- 1 材料にベースを押し当て、ブレードの先端を材料からはなした状態で、スイッチを引きます。



- 2 スイッチを軽く引き、スピードがゆっくりな状態で少しずつ穴をあけます。



- 3 スイッチを一杯に引き、少しずつ進めます。



保守・点検

⚠警告

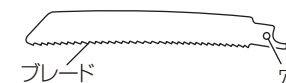
- 保守・点検の際は、必ずスイッチを切り、スイッチロックボタンをロック側（右側）に押し込みロックして、蓄電池を工具本体から抜いてください。
また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- エアーガンなどを用いて清掃する際には、保護メガネと防じんマスクを使用してください。
飛ばされた切粉を吸い込んだり、目に入る可能性があります。

●ブレードの点検

切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。早めに新品と交換してください。

⚠注意

穴部が摩耗したブレードを使用しないでください。
作業中にはずれると、けがの原因になります。

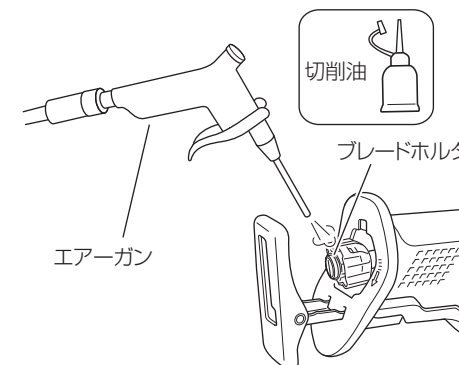


●ブレード取付け部の清掃・注油

ブレード取付け部をいつも円滑に動かすため、ご使用後は、切粉・土・砂・水分などをエアーで吹き飛ばすか、ブラシなどで清掃してください。

ブレードホルダ周辺部に切削油などを定期的に注油してください

注 ブレード取付け部周辺の凹部に切粉・土・砂・水分などを付着したままにしておくと、ブレードホルダ周辺部がさびついて機体内部の故障の原因になります。



●モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.8「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させてください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●機体の点検

各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

●端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が 50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

メモ

メ モ

メ モ